

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

労働環境対策事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者等

意図 労働問題への啓発を図るとともに、各種セミナー・相談などを通して就労支援を図るため。

効果 勤労者等の労働環境の向上及び就労促進

【 事業の内容 】

- ・ 労働需要調査を行い、基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図った。
- ・ 求職者等に向けた就労支援事業を行った。
- ・ 勤労者等に向けた労働相談等事業を行った。
- ・ 労政全般に係る庶務的業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,978	1,978	1,645		333
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		73	0
13節	就労困難若年者支援業務委託料		495	495
	就労困難若年者家族カウンセリング業務委託料		396	330
	メンタルヘルスカウンセリング業務委託料		159	122
	労働相談業務委託料		330	330
14節	会場使用料		79	14
19節	湘南合同就職面接会実行委員会負担金		116	116
	協働事業負担金(働くまち鎌倉推進～キャリアのセカンドステップ～)		330	238
<主な特定財源>				
	・国県支出金			119

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福利厚生事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 勤労者福祉
 施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【 事業の内容 】

- ・ 勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を補助した。
- ・ 福利厚生事業を行う団体に補助金を交付した。
- ・ 市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利厚生を増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に資金を預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
31,413	30,963	30,232		731
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
19節 中小企業退職金共済掛金補助金			400	199
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金			530	0
県駐労福祉センター運営費補助金			33	33
労働祭補助金			300	0
鎌倉地区勤労者体育大会補助金			150	0
21節 中央労働金庫預託金			30,000	30,000

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(2.4~3.3)		貸出残高(3.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	4	6,590,000	35	32,014,063

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

勤労者福祉支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 勤労者

意図 湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【 事業の内容 】

- ・ 中小企業勤労者の福利厚生向上を目的として事業を行う湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,601	20,601	19,761		840

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金

20,601

19,761

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎勤労者福祉 ○労働環境の充実

技能振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 勤労者福祉

施策の方針 労働環境の充実

【 事業の目的 】

対象 技能職者

意図 技能職者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・技能功労者等の表彰及び技能職団体連絡協議会の活動を支援することにより、技能振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
844	231	45		186
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	技能者表彰選考委員会委員報酬 8人		30	24
8節	技能者表彰記念品等報償費		170	21
11節	消耗品費		30	0
14節	技能祭機材賃借料		344	0
19節	技能職団体連絡協議会補助金		270	0

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部商工課(勤労者福祉担当)

【 職員給与費 】 (単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	24,400	24,277
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 3人	11,940	12,405
・ 3節 職員手当等	8,426	7,618
扶養手当	196	0
地域手当	1,822	1,894
通勤手当	178	247
超過勤務手当	910	150
休日給	40	41
期末勤勉手当	4,978	5,168
住居手当	302	118
・ 4節 共済費	4,034	4,254
市町村職員共済組合負担金		

(款) 25 労働費 (項) 5 労働諸費 (目) 5 労働諸費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部商工課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	3,050	962
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	2,168	794
・ 3節 職員手当等 期末手当	305	113
・ 4節 共済費	289	0
社会保険料	278	0
雇用保険料	11	0
・ 9節 旅費 費用弁償	288	55

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 5 農業委員会費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業委員会事務

【 農業委員会事務局 】

【 総合計面上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。
- ・ 農地管理システムを運用し、市内農地について農地法に基づく適正な管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,811	14,811	11,241		3,570
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	農業委員会委員報酬 13人		12,394	9,219
8節	収穫まつり入賞記念品		5	0
9節	農業委員費用弁償		35	0
	事務局職員普通旅費		65	7
11節	消耗品費		400	364
	印刷製本費		5	0
	農機具等修繕料		100	0
13節	農地管理システム地図データ変換業務委託料		110	110
14節	農地管理システム使用料		1,431	1,431
	神奈川県農業委員大会マイクロバス借上料		56	0
19節	農業委員会職員事務研究会負担金		10	10
	遊休農地解消対策協議会負担金		200	100
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			4,257

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 市民生活部農水課
 農業委員会事務局

【 職員給与費 】 (単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	70,018	65,535
・ 2節 給料 一般職	31,706	29,416
一般職職員 8人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	26,659	25,131
扶養手当	1,068	630
地域手当	5,064	4,656
通勤手当	730	504
超過勤務手当	1,432	2,850
休日給	0	81
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	14,823	13,057
住居手当	1,997	2,246
管理職員特別勤務手当	18	0
児童手当	540	120
・ 4節 共済費	11,653	10,988
市町村職員共済組合負担金	11,173	10,473
社会保険料	453	464
雇用保険料	27	51

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 10 農業水産業総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民生活部農水課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,029	910
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 1人	776	797
・ 3節 職員手当等 期末手当	109	113
・ 9節 旅費 費用弁償	144	0

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定と農産物の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給

【 事業の内容 】

- ・さがみ農業協同組合に鎌倉ブランド事業などに係る補助金を交付し、農業の振興を図った。
- ・鎌倉市農業振興ビジョンに基づく、農業の担い手の確保、遊休農地の解消及び国の施策に基づく担い手の育成・支援のための制度の円滑な運用を図った。
- ・前年度からの事故繰越しにより、令和元年台風第15号・第19号によって農業用施設に被害を受けた農業者に対し、国・県と協調して復旧及び撤去等に係る費用への補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,008	17,732	15,176		2,556
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市農業委員選定委員会委員報酬 4人		156	84
8節	手広川水路清掃作業等報償費		165	49
11節	消耗品費		194	72
13節	地産地消推進パンフレット作成委託料		98	0
19節	農業関係団体負担金		445	445
	農業振興事業費補助金		2,450	1,710
	新規就農者確保支援事業交付金		1,500	0
	鎌倉市経営体育成支援事業補助金(前年度からの事故繰越し)		0	12,816
<主な特定財源>				
	・国県支出金			9,156

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

市民農園事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【 事業の内容 】

- ・ 大船地区市民農園について、引き続き維持管理を行った。
- ・ 土地所有者が開設する市民農園の相談や支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
776	776	753		23
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
8節	市民農園耕作指導報償費		504	504
13節	市民農園草刈等業務委託料		272	249

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

農道整備事業

【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 産業振興

施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 農業従事者等

意図 農業生産基盤を整備し、生産性の向上、農業経営の安定化を図るため。

効果 生産性の向上、農業経営の安定化

【 事業の内容 】

・鎌倉農業振興地域整備計画に基づき、農道整備工事及び土質調査を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
39,875	37,257	32,651		4,606
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
13節	土質調査業務委託料		6,611	3,194
15節	農道整備工事請負費		33,264	29,457
<主な特定財源>				
・国県支出金				21,840
・地方債				8,800

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

水産業振興運営事業

【 農水課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【 事業の内容 】

・ 漁業協同組合等への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業が有する多面的機能の保全及び水産業の振興を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,775	2,707	1,955		752
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	鎌倉市水産業振興計画推進委員会委員報酬		68	0
11節	消耗品費		107	15
19節	神奈川県水難救済会等負担金		300	300
	漁業施設等災害支援金		500	0
	鎌倉漁業協同組合事業費補助金		1,000	1,000
	腰越漁業協同組合事業費補助金		500	500
	水産多面的機能発揮対策事業補助金		300	140

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

漁港施設管理事業

農水課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良好な維持管理を行うため。

効果 円滑な漁業活動の推進を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 漁港施設維持運営計画及び機能保全計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
- ・ 腰越海岸の飛砂防止のための砂防柵補修など漁港区域内海岸の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,006	4,562	1,349		3,213
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	腰越漁港指定管理者選定委員会委員報酬 5人		104	94
11節	漁港施設等維持修繕料		636	610
	漁港施設案内板修繕料		59	0
	腰越漁港公衆トイレ修繕料		1,034	0
	腰越海岸砂防柵修繕料		0	645
13節	腰越海岸海浜整地業務委託料		2,728	0
	漁港区域内廃棄物処理業務委託料		60	0
	腰越海岸堆積砂搬出業務委託料		22,000	0
	腰越漁港内草刈等業務委託料		385	0

(款) 30 農林水産業費 (項) 5 農業水産業費 (目) 15 農業水産業振興費

◎産業振興 ○農業・漁業の振興

鎌倉地域漁業支援施設整備事業

【 農水課 】

※重点事業(事業CD:6-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 農業・漁業の振興

【 事業の目的 】

対象 漁業従事者等

意図 鎌倉地域の漁業支援施設整備について検討するとともに、漁業者の就労環境の改善、漁船の安全確保、台風等の災害対策などの支援策を実施するため。

効果 支援策の実施により、鎌倉地域における漁業の安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 将来的な漁業支援施設整備について検討した。
- ・ 台風等の災害対策や漁業者の就労環境の改善を図るための支援施設を整備するにあたり、前年度からの事故繰越しにより、地元住民との合意形成に向けて資料作成等を行った。また、水産庁等関係者との協議を進めるとともに、地元住民との合意形成を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
737	5,148	5,137		11

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

13節 漁業支援施設説明会支援業務委託料	737	726
漁業支援施設整備協議資料作成等支援業務委託料 (前年度からの事故繰越し)	0	4,411

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工運営事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・コロナ禍の影響を受け、鎌倉市商工業振興計画の策定を見送り、姉妹都市物産展を中止した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
783	103	47		56
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業振興計画推進委員会委員報酬		144	0
11節	消耗品費		102	47
13節	姉妹都市物産展設営等委託料		426	0
	姉妹都市物産展仮設電源設置等委託料		62	0
	姉妹都市物産展チラシ作成業務委託料		49	0

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課(消費生活担当)

市民防災部商工課(商工担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	55,415	58,196
・ 2節 給料 一般職	26,675	26,350
一般職職員 7人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	19,565	22,183
扶養手当	362	497
地域手当	4,204	4,237
通勤手当	513	272
超過勤務手当	1,055	3,215
休日給	0	317
管理職手当	987	1,397
期末勤勉手当	11,250	10,931
住居手当	764	884
管理職員特別勤務手当	0	13
児童手当	430	420
・ 4節 共済費	9,175	9,663
市町村職員共済組合負担金	8,740	9,169
社会保険料	392	394
雇用保険料	43	100

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 5 商工総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共生共創部地域共生課(くらしと福祉の相談担当)

市民防災部商工課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	17,014	16,127
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	12,452	13,161
会計年度事務補助職員 3人		
統括消費生活相談員 2人		
消費生活相談員 4人		
・ 3節 職員手当等	1,717	1,804
期末手当		
・ 4節 共済費	1,518	248
社会保険料	1,431	248
雇用保険料	87	0
・ 9節 旅費	1,327	914
費用弁償		

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

中小企業支援事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業者等の健全な発展及び振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 経営安定資金融資を利用した際に支払う利子について、その一部を補助することにより、中小企業者等の負担軽減を図った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止により売上が減少した市内事業者に対して、2か月分の家賃相当額の補助を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、令和元年台風15号により被害を受けた市内中小企業者に対し、事業の再建に取り組む経費の一部を補助した。
- ・ 市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
309,150	750,532	700,068		50,464
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	信用保証料補助金		8,500	10,713
	経営安定資金融資利子補給金		650	4,256
	鎌倉市中小企業家賃支援補助金		0	382,671
	被災中小企業者復旧支援事業費補助金(前年度からの繰越明許費)		0	2,428
21節	中小企業融資預託金		300,000	300,000
	預託先 4金融機関			
	融資件数 65件			
	融資金額 334,900千円			
<主な特定財源>				
	・国県支出金			400,068

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工会議所助成事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 市内の商工業の改善・発達を図ることを目的とした、商工会議所の運営と事業を支援するため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,667	14,667	14,314		353
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	商工会議所運営費補助金		6,935	6,935
	商工業振興事業等補助金		553	200
	中小企業経営支援事業補助金		7,179	7,179

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商店街振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 商店街団体

意図 商店街団体が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。
- ・ 商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費を助成した。
- ・ 商店街団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,487	28,588	24,291		4,297
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	商店街アドバイザー謝礼		200	0
19節	商店街連合会補助金		1,710	1,710
	商店街街路灯等維持管理費補助金		4,400	7,547
	商店街活性化事業費補助金		4,000	13,401
	商店街共同施設設置費補助金		4,177	1,633

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

商工業振興事業

【 商工課 】

※重点事業(事業CD:6-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 産業振興
 施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 事業者等

意図 創業支援、新規に立地する企業に対する支援、市内における企業の設備投資及び中小企業者の経営革新に対する支援等を行い、商工業の振興を図るため。

効果 地域産業を振興し、雇用の創出と税収の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・市内事業者が情報発信・交流することができるサイトを運営した。
- ・鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会の活動として、テレワークに関する研究、情報発信等を行った。
- ・コロナ禍において小規模市内事業者を全市民で支援するため、電子決済のできる商品券を発行した。
- ・コロナ禍において飲食店を応援するため、クラウドファンディングを利用して寄付を募った。
- ・企業誘致活動の推進を図る協議会に加入し、情報の収集及び発信並びに関係機関との連携を図った。
- ・公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成した。
- ・市内事業者が実施する地域及び地球環境との共存・共生を図るための施設整備事業に要する経費の一部を助成した。
- ・中小企業者が実施する人材育成事業、産業財産権取得事業、展示会等出展事業などの経営基盤強化事業に要する経費の一部を助成した。
- ・企業が市内に立地する際に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,066	1,011,213	936,778		74,435
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬		62	0
8節	商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼		50	50
	点字版及び音声版取扱店舗一覧作成に係る謝礼金		0	68
11節	資生堂鎌倉工場跡地に係る防草シート撤去修繕料		0	799
13節	企業情報発信・交流サイト運営委託料		803	803
	鎌倉テレワーク・ライフスタイル研究会広報委託料		500	0
	鎌倉応援買い物・飲食電子商品券発行管理運営業務委託料		0	922,389
	鎌倉市飲食店等支援クラウドファンディング業務委託料		0	1,694
19節	神奈川県企業誘致促進協議会負担金		41	41
	商工業元気アップ事業費補助金		2,000	0
	経営アドバイザー派遣事業補助金		110	84
	環境共生施設整備費補助金		6,000	1,705
	経営基盤強化事業費補助金		1,500	720
	企業立地整備費等補助金		9,000	8,425

<主な特定財源>

・国県支出金

576,355

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 10 商工業振興費

◎産業振興 ○商工業振興の充実

公衆浴場助成事業

商工課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がり、
更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【 事業の内容 】

・ 公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,000	1,000	589		411

<支出内訳>

19節 公衆浴場設備整備費補助金

当初予算額 支出済額

1,000 589

伝統鎌倉彫振興事業

【 商工課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 産業振興
施策の方針 商工業振興の充実

【 事業の目的 】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

効果 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,032	4,032	3,903		129
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節 鎌倉彫振興事業所光熱水費			500	344
鎌倉彫振興事業所維持修繕料			200	228
12節 鎌倉彫振興事業所消防用設備保守点検手数料			24	24
13節 鎌倉彫振興事業所警備委託料			117	116
19節 伝統的工芸品産業振興協会負担金			50	50
伝統鎌倉彫振興事業補助金			3,141	3,141

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

消費者自立支援事業

【 地域共生課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 消費者対策
 施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【 事業の内容 】

- ・消費者被害を未然に防ぐため、啓発紙「生活の情報」の発行、広報紙への掲載を行った。各種講座の開催は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施を見送った。
- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,243	789	583		206
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節 消費生活委員会委員報酬 8人			164	144
消費生活紛争調停委員会委員報酬 3人			30	0
8節 移動教室、講座講師等謝礼			160	0
9節 消費生活相談員費用弁償			99	8
11節 消耗品費			198	96
印刷製本費			217	0
12節 電信料			38	38
13節 消費生活相談員助言委託料			297	297
19節 消費生活相談員研修負担金			40	0
<主な特定財源>				
・国県支出金				673

(款) 35 商工費 (項) 5 商工費 (目) 15 消費生活対策費

◎消費者対策 ○安心な消費生活の実現

エシカル消費推進事業

【 地域共生課 】

※重点事業(事業CD:6-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 消費者対策

施策の方針 安心な消費生活の実現

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 消費している商品やサービスの生産背景を知ることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動の理解促進に向け、エシカル消費の普及啓発を図るため。

効果 エシカル消費の理解を深めることにより、人と社会、地球環境、地域のことを考慮した消費行動ができる。

【 事業の内容 】

- ・エシカル消費推進のため、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しつつ一部の講演会を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
276	276	85		191

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
8節 移動教室、講座講師等謝礼	270	85
11節 消耗品費	6	0

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎観光 ○観光振興の推進

観光運営事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち

分野 観光

施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基本計画の推進を図るとともに、他の自治体と連携し、広域的な観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 第3期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理を行った。
- ・ 他の自治体・関係団体との連携により、パンフレットの作成等広域観光の情報発信や情報交換等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,129	1,979	1,752		227

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

1節 鎌倉市観光基本計画推進委員会委員報酬 7人	150	37
11節 消耗品費	269	165
19節 三浦半島観光連絡協議会負担金	1,000	1,000
神奈川県観光振興対策協議会等負担金	710	550

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部観光課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	69,667	58,856
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 7人	28,329	26,177
・ 3節 職員手当等	30,851	22,669
扶養手当	1,190	904
地域手当	4,594	4,227
通勤手当	696	627
超過勤務手当	6,547	1,360
休日給	183	192
管理職手当	1,102	1,102
期末勤勉手当	13,247	12,140
住居手当	2,032	1,457
児童手当	1,260	660
・ 4節 共済費 市町村職員共済組合負担金	10,487	10,010

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 5 観光総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
市民防災部観光課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	5,486	4,485
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 8人	4,032	3,771
・ 3節 職員手当等 期末手当	588	434
・ 4節 共済費	289	1
社会保険料	278	0
雇用保険料	11	1
・ 9節 旅費 費用弁償	577	279

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興事業

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 多様な観光プログラムと最新の観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・観光マップ等を活用し、観光客への適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,374	2,860	697		2,163
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	印刷製本費		2,057	33
12節	運搬料		3	0
13節	鎌倉市観光情報紙作成業務委託料		492	164
	観光マップ「鎌倉」作成業務委託料		1,700	0
	外国語版パンフレット作成業務委託料		2,411	0
	点字マップ作成委託料		3,000	0
	鎌倉版フィルムコミッション周知用インタビュー映像撮影業務委託料		0	500
19節	外国語ガイド研修負担金		917	0
	車いす観光バリアフリーマップ作成事業等負担金		914	0
	駅前ガイド事業負担金		2,880	0

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光振興支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光事業者、観光団体、市民・市民団体等様々な観光主体が一体となり、地域全体で観光振興を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ 俳句&ハイクに負担金を交付し、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,291	486	486		0
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	俳句&ハイク事業負担金		486	486
	鎌倉ビーチフェスタ事業負担金		1,045	0
	主要観光行事安全対策負担金		760	0

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光振興の推進

観光協会支援事業

【 観光課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光振興の推進

【 事業の目的 】

対象 鎌倉市観光協会・観光客等

意図 様々な観光主体のネットワークの中心となり、観光宣伝と観光客誘致を行う鎌倉市観光協会の支援を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉の観光に係る様々な情報を効果的に発信するため、観光ウェブサイトの運営を連携して行い、観光客の利便性の向上を図った。
- ・ 鎌倉市観光協会の運営や薪能等の事業に対する支援を行い、本市の観光振興の充実を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,716	50,856	44,271		6,585
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
19節	観光ホームページ運営負担金		2,426	0
	観光情報等発信業務負担金		1,440	0
	インターネットを活用した情報発信事業負担金		0	2,784
	鎌倉市観光協会運営費等補助金		50,850	41,487

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光案内所運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
分野 観光
施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光案内業務を通じて観光客の利便性向上を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

・ JR鎌倉駅東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,315	20,524	20,455		69
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
12節	電信料		120	81
13節	観光案内所業務委託料		25,091	18,300
14節	観光案内所ブース賃借料		1,980	1,980
	観光案内所デジタルサイネージ使用料		64	63
19節	観光案内所電気使用料負担金		60	31

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 10 観光振興費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

観光施設整備事業

観光課

※重点事業(事業CD:6-2-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 観光客等

意図 観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・観光客の誰もが安全で快適に観光できるように、観光案内板等の新設・改修・修繕や、公衆トイレの修繕、ハイキングコースの安全確保等観光客の受入環境の整備を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、ハイキングコース復旧業務委託を行った。
- ・観光客の利便性向上を目指し、屋外型Wi-Fi接続設備の維持管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
28,564	34,763	29,628		5,135
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		91	18
	光熱水費		1,588	445
	公衆トイレ等維持修繕料		5,047	1,599
	材木座公衆トイレ給水管修繕料		2,077	0
	鶴岡八幡宮休憩所公衆トイレ修繕料		1,300	1,300
	材木座海岸水道管修繕料		5,170	0
	覚園寺公衆トイレ修繕料		0	893
	由比ヶ浜海岸滑川公衆トイレ多目的トイレオストメイト修繕料		0	955
	鎌倉駅東口公衆トイレ照明器具等取替修繕料		0	985
	由比ガ浜中央公衆トイレ汚水ポンプ取替修繕料		0	598
12節	電信料		845	845
	備品倉庫消防設備点検手数料		14	13
13節	ハイキングコース等観光施設整備業務委託料		1,078	1,408
	観光案内板等作成委託料		2,385	2,077
	屋外型Wi-Fi接続設備保守委託料		871	871
	公衆トイレし尿処理委託料		1,695	754
	極楽寺駅公衆トイレ清掃業務委託料		2,811	2,690
	ハイキングコース復旧業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	9,867
14節	由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料		1,122	1,122
	屋外ライブカメラ等賃借料		240	239
19節	ハイキングコースパトロール事業等負担金		258	140
	公衆トイレ電気・水道使用料負担金		972	224
	材木座海岸水道管修繕料負担金		0	2,585
	屋内型Wi-Fi接続設備整備補助金		1,000	0

(款) 40 観光費 (項) 5 観光費 (目) 15 海水浴場費

◎観光 ○観光基盤の整備・充実

海水浴場運営事業

観光課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 活力ある暮らしやすいまち
 分野 観光
 施策の方針 観光基盤の整備・充実

【 事業の目的 】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場の公衆衛生、危険防止及び秩序保持を図るため。

効果 観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

【 事業の内容 】

- ・夏季における海岸での水難事故を未然に防ぐため、海岸事故未然防止員の人員配置を行った。
- ・夏季における海岸でのマナー向上のための推進員の配置及び海岸の清掃を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
107,480	51,014	49,986		1,028
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		266	157
	燃料費		15	0
	印刷製本費		105	97
	光熱水費		15	0
12節	電信料		142	0
13節	海水浴場監視業務等委託料		32,697	0
	砂防柵設置・撤去及びびなぎさ整地業務委託料		6,556	0
	放送設備及び放送塔設置委託料		4,287	0
	コースロープ設置及び撤去業務委託料		1,455	1,542
	仮設木橋設置等委託料		1,419	0
	防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料		913	0
	海水浴場水道管敷設等委託料		731	0
	仮設木橋材料保管・運搬業務委託料		392	0
	看板作成委託料		500	327
	海水浴場開き式会場設営等委託料		156	0
	海水浴場関連廃棄物処理委託料		54	0
	海水浴場等警備業務委託料		13,232	0
	海水浴場ごみ処理委託料		17,156	7,250
	海水浴場水質調査業務委託料		73	0
	ごみ箱設置業務委託料		1,298	1,298
	ごみ箱収集運搬・保管業務委託料		396	385
	海岸整地業務委託料		1,320	457
	ファミリービーチ運営業務委託料		967	0
	ファミリービーチ設営業務委託料		1,560	0
	ファミリービーチ水道管敷設等業務委託料		321	0
	バリアフリービーチ対応要員委託料		499	0

	鎌倉市海浜パトロールボランティアTシャツデザイン業務委託料	0	99
	鎌倉市夏季海岸事故未然防止業務委託料	0	22,420
	鎌倉市夏季海岸マナーアップ推進員巡回及び海岸清掃業務委託料	0	10,575
14節	監視所・仮設トイレ等賃借料	18,183	5,379
	ファミリービーチ管理棟賃借料	1,063	0
	腰越海水浴場コインロッカー建物賃借料	1,064	0
	腰越海水浴場コインロッカー賃借料	165	0
19節	海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金	480	0

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

がけ地対策事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 既成宅地におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。
- ・ 急傾斜地崩壊危険区域の指定の促進を図り、県が行う急傾斜地防災工事事業費の約2割を負担した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
95,369	129,369	125,586		3,783
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費			90	54
19節 急傾斜地防災工事負担金			61,000	60,591
神奈川県治水砂防協会等負担金			229	229
既成宅地等防災工事費補助金			34,000	64,712
既成宅地等防災工事費利子補給金			50	0
<主な特定財源>				
・地方債				47,900

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎防災・安全 ○危機管理対策

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 防災・安全

施策の方針 危機管理対策

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【 事業の内容 】

・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,860	1,860	1,165		695
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)		520	516
	放射性物質測定装置修繕料		649	44
13節	放射性物質測定装置点検委託料		363	363
	放射性物質測定装置校正委託料		328	242

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道(水)路調査事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道路・水路整備を的確に行うための道路・水路の境界確定を行うほか、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道路・水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちを実現する。

【 事業の内容 】

- ・境界確定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い、境界の確定後、境界確定図を作成した。
- ・市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
79,515	70,087	63,345		6,742
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		864	768
12節	横浜地方法務局資料閲覧等手数料		10	0
13節	境界確定等測量・調査業務委託料		40,903	33,764
	境界立会94回、打合せ協議18回、境界点測量494点 石標埋設33本、金属標埋設45枚 4級基準点測量(伐採なし)2,713.1m及び163点 同(伐採あり)42m及び2点、確定図作成99,050.1㎡外			
	狭あい道路拡幅整備事業境界確定立会等業務委託料		22,596	14,308
	境界立会27回、打合せ協議2回、境界点測量92点、石標埋設34本 金属標埋設17枚、4級基準点測量(伐採なし)619.8m及び75点 同(伐採あり)0m及び0点、確定図作成33,254.5㎡外			
14節	電子複写機賃借料		141	69
17節	狭あい道路拡幅用地等購入費		15,000	14,436
	道水路用地購入費		1	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,183

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路台帳整備事業

【 道水路調査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路・水路等の境界確定図等を管理・交付するための土地境界確定図システムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・御成町、雪ノ下、小町及び大町の一部の地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
77,594	56,240	53,028		3,212
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		803	597
13節	境界杭復元等業務委託料		37,289	21,209
	4級基準点測量(伐採なし)2,832.4m及び161点			
	同(伐採あり)32.8m及び3点、石標埋設復元56本			
	金属標埋設復元103枚、金銀埋設復元236本、境界点復元測量496点			
	検査探索1,462点、境界点測量134点外			
	道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料		11,550	11,550
	基準点測量業務委託料		1,228	0
	土地境界確定図管理システム保守業務委託料		1,228	1,228
	地籍調査事業測量等業務委託料		21,844	14,793
14節	土地境界確定図管理システム賃借料		3,652	3,651
<主な特定財源>				
	・国県支出金			11,097

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【 事業の内容 】

・道路利用者の安全性・快適性を保ち良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
125,245	125,051	113,427		11,624
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		630	97
	燃料費		1	0
	光熱水費		8,924	7,731
	道路管理施設維持修繕料		11,824	9,193
	内訳			
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ下照明分電盤修繕業務			835
	大船駅東口A1号機Ele標準修理Br並びに大船駅東口A2号機Ele標準修理Br及びMP取替業務			7,652
	鎌倉駅地下道天井漏水修繕業務 外3件			706
12節	電信料		754	694
	路上放置自動車リサイクル等手数料		15	0
	道路賠償補償保険料		853	853
13節	鎌倉駅通り抜け地下道展示ケース等清掃業務委託料		291	242
	大船駅監視設備保守管理業務委託料		660	660
	大船駅エレベーター等保守管理業務委託料		9,449	9,449
	鎌倉駅西口広場周辺清掃業務委託料		1,606	805
	鎌倉駅通り抜け地下道排水ポンプディーゼルエンジン保守点検業務委託料		275	109
	鎌倉駅通り抜け地下道制御盤装置保守点検及び水槽清掃業務委託料		150	150
	大船駅道路管理施設清掃業務委託料		3,399	3,223
	大船駅管理施設警備監視等業務委託料		18,091	15,378
	北鎌倉隧道の通行禁止に伴う歩行者誘導業務委託料		13,736	12,339
	道路維持業務委託料		10,000	9,780
	看板作成業務委託料		194	97
	路上放置自動車処理業務委託料		10	0
14節	大船駅西口ペDESTリアンデッキ用地賃借料		1,542	1,542
	大船駅西口公共広場用地賃借料		40,639	40,639

19節	神奈川県道路利用者会議等負担金	202	172
22節	道路事故賠償金	2,000	274

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活を送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理を図る。

【 事業の内容 】

- ・既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,330	40,389	24,344		16,045
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	市内街路照明灯電気料		14,059	13,898
	街路照明灯維持修繕料		4,690	4,475
	鎌倉駅通り抜け地下道LED交換修繕料		5,234	1,236
13節	街路照明灯新設委託料		291	167
	街路照明灯柱点検業務委託料		10,000	0
14節	LED街路照明灯賃借料		4,653	4,568
	LED街路照明灯賃借料(その2)		4,403	0

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

行政経営部公的不動産活用課(公的不動産維持担当)

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市景観部のうち都市調整課・開発審査課・建築指導課

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・作業センター

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	783,230	744,223
・ 2節 給料 一般職	364,260	343,904
一般職職員 88人		
短時間勤務職員 7人		
・ 3節 職員手当等	289,814	274,813
扶養手当	12,146	10,848
地域手当	57,941	55,242
通勤手当	9,927	9,363
超過勤務手当	15,890	16,532
休日給	15	42
管理職手当	11,864	11,864
特殊勤務手当	50	1
期末勤勉手当	160,476	152,905
住居手当	15,954	13,246
管理職員特別勤務手当	111	0
児童手当	5,440	4,770
・ 4節 共済費	129,156	125,506
市町村職員共済組合負担金	126,236	122,631
社会保険料	2,667	2,810
雇用保険料	253	65

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

行政経営部公的不動産活用課

防災安全部総合防災課

都市景観部のうち都市調整課・建築指導課

都市整備部のうち道水路管理課・浄化センター

【 職員給与費 】

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	42,460	36,962
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	31,377	29,764
会計年度事務補助職員 18人		
会計年度公共施設調査設計業務等補助員 3人		
開発等許認可指導員 1人		
危険ブロック塀指導等補助職員 2人		
放射性物質測定業務補助職員 3人		
・ 3節 職員手当等 期末手当	4,403	3,878
・ 4節 共済費	2,729	1,955
社会保険料	2,631	1,950
雇用保険料	98	5
・ 9節 旅費 費用弁償	3,951	1,365

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

設計事務

【 公的不動産活用課 】

※重点事業(事業CD:0-2-1-5)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
 分野 行財政運営
 施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【 事業の内容 】

・ 建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,819	6,819	6,509		310
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		1,858	1,612
	印刷製本費		82	0
13節	外壁調査業務委託料(腰越行政センター)		363	330
	外壁調査業務委託料(鎌倉青少年会館)		352	275
	外壁等調査業務委託料(鎌倉市福祉センター)		0	143
14節	建築積算システム機器賃借料		2,496	2,496
	営繕積算システム賃借料		1,632	1,632
	電子複写機賃借料		36	21

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
分野 行財政運営
施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・ 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。
- ・ 道路施設の維持管理に必要なシステムの実証実験を含む運用等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,992	1,992	1,410		582
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		159	85
13節	道路施設維持管理共同システム台帳情報入力業務委託料		584	416
	道路損傷等通報システム関連業務委託料		83	0
14節	道路施設維持管理共同システム使用料		1,166	909

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 5 土木総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

作業センター事業

【 作業センター 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 計画の推進に向けた考え方
 分野 行財政運営
 施策の方針 行財政運営

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【 事業の内容 】

・ 道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路の浚渫を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
159,827	159,827	107,410		52,417
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		3,440	3,166
	作業用車両燃料費		2,143	1,114
	光熱水費		134	89
	道路管理施設等維持修繕料		33,570	9,791
	消耗品等維持修繕料		180	0
	備品修繕料		500	402
	作業用車両修繕料		4,484	2,703
	医薬材料費		39	39
12節	電信料		965	451
	消防設備保守点検等手数料		22	20
13節	上町屋資材置場警備委託料		102	102
	残土処分委託料		4,471	2,693
	カーブミラー設置業務委託料		4,818	801
	高圧洗浄による排水管渠等浚渫清掃業務委託料		13,382	9,850
	道路側溝等浚渫汚泥運搬処分業務委託料		6,793	2,731
	道路・河川清掃等業務委託料		43,674	45,347
14節	維持補修用重機賃借料		5,087	3,490
	FAX付コピー機賃借料		102	9
16節	補修用原材料費		35,000	23,952
18節	プレートコンパクター等購入費		539	294
19節	法定講習負担金		8	8
22節	補填金		1	0
	賠償金		1	0
27節	自動車重量税		372	358
*補修用原材料費内訳				
	アスファルト合材	473.4 t	11,800 千円	
	カーブミラー部材	47 面	1,594 千円	
	グレーチング蓋	112 枚	835 千円	
	スチール透水蓋	135 枚	2,240 千円	

U型側溝蓋等	494 枚	1,568 千円
生コンクリート他	1 式	5,915 千円

* 補修班による維持補修

アスファルト合材舗装工	270 m ²
アスファルト舗装打換工	188 m ²
パッチング	2,329 m ²
カーブミラー新設・補修工	164 件

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎防災・安全 ○防災・減災対策の充実

建築相談事業

【 建築指導課 】

※重点事業(事業CD:5-1-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 防災・安全
 施策の方針 防災・減災対策の充実

【 事業の目的 】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも
 在来工法で木造2階建て以下)・マンション等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を補助した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事を行った場合の費用を補助したが、防災ベッド等の設置費用の補助は、申請がなく実施できなかった。
- ・ 危険ブロック塀等の除却及び除却後にフェンスの設置を行った場合の費用を補助した。特に通学路及び津波浸水想定区域内を重点的に補助した。
- ・ 共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣を行った。マンションの耐震診断費用の補助は、申請がなく実施できなかった。
- ・ 耐震改修促進計画に位置付けられた、耐震診断義務路線に接する一定の高さ以上の建築物の耐震診断費用を補助した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78,569	46,346	35,015		11,331
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼		102	17
11節	消耗品費		180	0
	印刷製本費		33	24
13節	耐震相談業務委託料		355	209
19節	現地耐震診断補助金		3,685	1,005
	木造住宅耐震改修工事費等補助金		19,000	8,200
	危険ブロック塀等対策事業補助金		42,142	24,295
	マンション耐震診断補助金		1,500	0
	避難路沿道建築物耐震診断補助金		10,872	1,265
	防災ベッド等設置事業費補助金		700	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			18,355

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市調整運営事務

【 都市調整課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 市街地整備
施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・ 開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
497	497	99		398

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
9節 会計年度任用職員費用弁償	2	0
11節 消耗品費	485	94
19節 神奈川県九市開発許可研究協議会負担金	10	5

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

開発審査事務

【 開発審査課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。
- ・大規模盛土造成地の変動予測調査(第一次スクリーニング)で抽出された大規模盛土造成地の第二次スクリーニングを効率的かつ的確に実施するため、優先度評価を行い、第二次スクリーニング計画を作成した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,053	26,053	20,586		5,467
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節	一般文具等消耗品費		202	38
	開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費		155	0
13節	大規模盛土造成地第二次スクリーニング計画の作成委託料		25,696	20,548
<主な特定財源>				
	・国県支出金			10,274

(款) 45 土木費 (項) 5 土木管理費 (目) 10 建築指導費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

建築指導事務

【 建築指導課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 市街地整備

施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【 事業の内容 】

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,895	8,895	6,431		2,464
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
1節	建築審査会委員報酬 3人		288	64
	建築審査会専門委員報酬 3人		128	0
9節	建築審査会委員等費用弁償		31	0
11節	消耗品費		380	152
	印刷製本費		66	15
12節	鎌倉市建築審査会等会議録作成筆耕翻訳料		220	0
	特定行政庁団体賠償責任保険保険料		50	50
13節	特殊建築物等定期報告業務委託料		5,885	4,706
	長期優良住宅及び低炭素建築物の認定に係る技術的審査業務委託料		264	0
14節	建築行政共用データベースシステム利用料		1,133	1,133
	公会堂等使用料		8	0
19節	神奈川建築コンクール負担金		105	0
	神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金		156	156
	日本建築行政会議等負担金		181	155

建築基準法に基づく確認申請及び許可等申請状況

件名	件数
建築確認	32
計画通知	9
建築許可	96
道路位置指定	2
長期優良住宅認定	213
低炭素建築物認定	20

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

・ 土木情報総合管理システム保守及び機器等の管理を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
36,501	36,037	34,998		1,039
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		1,036	749
	印刷製本費		16	0
	備品修繕料		50	50
12節	電信料		168	0
	筆耕翻訳料		253	0
13節	土木情報総合管理システム保守委託料		8,008	7,909
	工事資材単価調査業務委託料		373	199
14節	土木情報総合管理システム機器賃借料		22,039	21,638
	市町村システム使用料		3,960	3,960
	電子複写機賃借料		598	493

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
 防災安全部市民安全課
 都市整備部道路課(整備担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	133,149	126,333
・ 2節 給料 一般職	58,373	55,406
一般職職員 16人		
短時間勤務職員 2人		
・ 3節 職員手当等	53,261	49,725
扶養手当	2,136	2,242
地域手当	9,226	9,116
通勤手当	1,599	1,450
超過勤務手当	9,639	6,864
休日給	118	15
管理職手当	987	1,644
期末勤勉手当	25,795	24,674
住居手当	2,266	2,265
児童手当	1,495	1,455
・ 4節 共済費	21,515	21,202
市町村職員共済組合負担金	20,255	20,351
社会保険料	1,186	851
雇用保険料	74	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 5 道路橋りょう総務費

○行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
防災安全部市民安全課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	7,381	7,626
・ 1節 報酬 会計年度任用職員	5,722	6,060
会計年度事務補助職員 1人		
交通安全教育主任指導員 1人		
交通安全教育指導員 2人		
・ 3節 職員手当等	803	828
期末手当		
・ 4節 共済費	289	262
社会保険料	278	262
雇用保険料	11	0
・ 9節 旅費	567	476
費用弁償		

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通安全対策事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
- ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
- ・富士見町駅下横断歩道に、通学時間帯に交通誘導員を配置した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,152	20,152	18,079		2,073
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	自転車教室指導員謝礼		512	24
9節	交通安全教育指導員費用弁償		9	0
11節	消耗品費		430	106
12節	交通安全教室損害保険料		30	5
13節	スクールゾーン対策業務委託料		6,500	6,415
	富士見町駅下交通誘導業務委託料		1,146	1,082
19節	鎌倉市交通安全対策協議会補助金		11,200	10,127
	鎌倉交通安全協会補助金		160	160
	大船交通安全協会補助金		160	160
22節	交通安全教室参加者賠償金		5	0

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎総合交通 ○交通環境の整備

放置自転車防止事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・ 歩行者の安全な通行を確保するため、自転車等を放置しづらい環境づくりを推進した。
- ・ 市が管理する駐輪場の巡回管理及び放置自転車等保管場所の管理を委託した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,178	42,403	42,159		244
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		89	21
	印刷製本費		0	125
	光熱水費		280	214
	放置自転車等保管場所等維持修繕料		409	400
12節	電信料		42	42
13節	放置自転車等対策関連設備設置等業務委託料		459	440
	放置自転車等防止対策業務委託料		45,552	37,987
	鎌倉地域自転車等保管場所撤去業務委託料		879	544
14節	稲村ガ崎自転車等駐車場土地使用料		178	177
	鎌倉駅西口第1自転車等駐車場等土地使用料		2,187	2,187
16節	駐輪場修繕用原材料費		103	22

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設維持事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,711	3,550	2,449		1,101

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
11節	ガードレール塗装等維持修繕料	470	0
	カラー舗装等維持修繕料 (薄層カラー舗装15.1㎡)	1,741	231
13節	道路ライン等設置業務委託料 (区画線延長1,148.5m、文字記号延長1,140.35m)	4,500	2,218

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 8 交通安全施設費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、通学路の安全対策を実施した。
- ・市道213-010号線の交通安全対策施設工事(歩道段差等改善)を行った。
- ・和田塚3号踏切道の拡幅工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
50,947	34,255	22,812		11,443
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	交通安全対策施設検討業務委託料(市道031-000号線)		4,763	0
15節	交通安全対策施設工事請負費		31,229	7,858
	内訳			
	大船三丁目17番先(市道213-010号線)歩道段差等改善 10箇所		9,130	7,858
	浄明寺六丁目5番先(市道038-015号線)歩道段差等改善		10,021	0
	津西一丁目9番先外(市道202-093号線外)転落防止柵等設置		6,105	0
	梶原二丁目1番先(市道047-066号線)植栽帯改良等		5,973	0
	交通安全施設整備工事請負費		0	0
	内訳			
	常盤863番地先(市道027-000号線)歩道整備(前年度からの繰越明許費)		0	0
19節	和田塚3号踏切道拡幅工事負担金		14,955	14,954
	踏切道拡幅工 一式			
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,544

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 10 道路維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 道路整備
 施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めた。
- ・土砂や倒木の撤去等を行い、通行の安全を確保した。
- ・市道018-003号線外、市道055-000号線外、市道064-001号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・前年度から繰越明許費により市道050-018号線外の道路維持修繕工事を行った。
- ・大船駅東口ペDESTリアンデッキの点検業務、塗膜調査業務、修繕工事に係る積算業務を行った。
- ・大船駅東口ペDESTリアンデッキの修繕工事は年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・横断歩道橋4橋について長寿命化修繕計画を策定した。
- ・市道060-044号線外(今泉三丁目15番先外3箇所)の斜面崩落対策調査設計等業務を行った。
- ・市道007-000号線の道路陥没が発生した箇所の周辺について路面下空洞調査業務を行った。
- ・市道008-082号線の御成小学校前において視覚障害者誘導用ブロックを設置した。
- ・前年度から繰越明許費により台亀井隧道外のトンネル修繕設計業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
308,930	412,330	218,268	108,552	85,510
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	道路維持修繕料		10,200	8,954
	内訳			
	今泉台七丁目2番先(市道060-000号線)(側溝修繕等)			638
	山崎868番地先(市道056-040号線)(法面修繕)			1,243
	材木座三丁目8番先(市道007-000号線)(道路陥没復旧等)			2,772
	大町五丁目19番先(市道005-008号線)(土留工等)			1,298
	極楽寺三丁目11番先(市道010-019号線)(舗装修繕等)			1,232
	梶原二丁目34番先(市道046-131号線)(舗装修繕等)			1,276
	今泉一丁目1番先(市道060-000号線)(舗装修繕)外2件			495
13節	崩落土砂処分等業務委託料		12,200	25,187
	内訳			
	常盤861番6外(市道027-000号線)(剥離モルタル撤去処分)			407
	岡本二丁目1番先(大船駅西口ペDESTリアンデッキ)(天井パネル撤去処分)			75
	笛田六丁目16番先(市道203-035線)(倒木等処分)			4,092

	稲村ガ崎五丁目5番先(市道010-029号線)(土砂等撤去)	3,344	
	津西二丁目14番先(市道020-000号線)(土砂等撤去)	5,597	
	稲村ガ崎五丁目5番先(市道010-029号線)(法面シート養生)	1,870	
	山ノ内520番地先(市道434-046号線)(樹木伐採)	358	
	鎌倉山一丁目28番先(市道025-000号線)(道路復旧)	4,884	
	十二所580番地先(市道039-007号線)(倒木等処分)	4,560	
	(前年度からの繰越明許費)		
	津西二丁目14番先(市道020-000号線)(仮設落石防護柵設置)	0	
	(翌年度への繰越明許費)		
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ点検業務委託料	4,213	3,285
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ塗膜調査業務委託料	1,210	440
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ積算業務委託料	2,805	1,903
	横断歩道橋長寿命化修繕計画策定業務委託料	1,718	1,716
	斜面崩落対策調査設計等業務委託料	29,678	22,436
	北鎌倉隧道安全対策検討業務委託料	18,128	0
	北鎌倉隧道安全対策工事実施計画検討業務委託料	11,000	0
	路面下空洞調査業務委託料	0	986
	視覚障害者誘導用ブロック設置業務委託料	0	462
	落石防止柵撤去業務委託料	0	5,280
	トンネル修繕設計業務委託料(市道057-002号線[台亀井隧道]外)	0	15,277
	(前年度からの繰越明許費)		
14節	工事用仮駐車場賃借料	450	900
15節	道路維持修繕工事請負費	102,847	83,725
	内訳		
	腰越三丁目9番先外(市道018-003号線外)舗装打換	17,622	13,555
	舗装工 延長223.7m 面積714.4㎡		
	梶原一丁目6番先外(市道055-000号線外)舗装打換	27,720	22,199
	舗装工 延長362.8m 面積1,881.3㎡		
	大船一丁目4番先(市道059-013号線)舗装打換	32,505	0
	城廻440番地先(市道064-001号線)舗装打換	25,000	12,495
	舗装工 延長168.3m 面積733.0㎡		
	岡本1500番地先外(市道050-018号線外)舗装打換、擁壁補修	0	35,476
	(前年度からの繰越明許費)		
	七里ガ浜二丁目20番先(市道015-000号線)舗装工、階段補修工	0	0
	(前年度からの繰越明許費)		
	大船駅東口ペDESTリアンデッキ修繕工事請負費	91,850	32,600
	橋面舗装工 面積764.8㎡(翌年度への繰越明許費)		
19節	JR北鎌倉駅仮改札開設工事等負担金	22,631	15,117
<主な特定財源>			
	・国県支出金		2,035
	・地方債		117,700

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 15 道路新設改良費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路新設改良事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境及び生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・道路新設改良工事実施予定路線について、舗装構成(FWD)調査業務を実施し、現況地盤や交通量の調査及び舗装構成の設計を行った。
- ・市道038-000号線、市道202-093号線の道路新設改良工事を行った。
- ・砂押川沿い歩道整備工事において、張出歩道の整備と舗装の本復旧を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
223,212	147,829	132,197		15,632
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	舗装構成(FWD)調査業務委託料		2,464	1,983
	荏柄天神参道整備設計業務委託料		5,940	0
15節	大規模住宅地等道路改良整備工事請負費		132,715	55,205
	内訳			
	浄明寺六丁目4番先(市道038-000号線)舗装打換		48,796	42,711
	舗装工 延長358.2m 面積2,642.3㎡			
	小袋谷二丁目22番先(市道213-023号線)舗装打換		10,549	0
	津西一丁目6番先(市道202-093号線)舗装打換		14,476	12,494
	舗装工 延長120.0m 面積362.5㎡			
	今泉台四丁目22番先外(市道061-069号線外)舗装打換		29,040	0
	手広四丁目18番先外(市道040-000号線外)舗装打換		29,854	0
	砂押川沿い歩道整備工事請負費		82,093	75,009
	張出歩道整備工一式 道路修繕一式			
<主な特定財源>				
	・国県支出金			9,028
	・地方債			119,400

(款) 45 土木費 (項) 10 道路橋りょう費 (目) 20 橋りょう維持費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

橋りょう維持補修事業

【 道路課 】

※重点事業(事業CD:5-4-1-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・劣化が著しい箇所の補修等を行い、安全な交通を確保した。
- ・音無橋、極楽寺橋及び関谷2号橋外9橋の修繕工事に必要となる設計業務を行った。
- ・新富岡橋、三橋及び西瓜川4号橋外2橋の修繕工事をを行い、安全な交通を確保した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
154,867	147,847	108,205		39,642
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	橋りょう維持修繕料		2,000	1,640
	内訳			
	関谷510番地先(関谷2号橋)			968
	山崎1589番地先(山崎川2号橋)			672
13節	橋りょう補修修繕設計業務委託料(音無橋)		12,419	9,794
	橋りょう補修修繕設計業務委託料(極楽寺橋)		11,572	8,008
	橋りょう補修修繕設計業務委託料(関谷2号橋外9橋)		24,519	14,503
15節	橋りょう維持修繕等工事請負費		104,357	74,260
	内訳			
	台一丁目2番先(新富岡橋)塗装塗替・地覆等補修		86,603	58,982
	長谷二丁目9番先(三橋)高欄修繕等		14,487	12,330
	山ノ内933番地先外(西瓜川4号橋外2橋)床版等補修		3,267	2,948
<主な特定財源>				
	・国県支出金			15,480
	・地方債			88,600

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 下水道・河川
施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 河川維持管理協力団体等

意図 河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・河川の良い環境を維持するため、河川の清掃及び目視による生態系調査等を協力団体に依頼した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,488	1,488	1,486		2
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	河川維持管理協力団体報償費		240	240
11節	消耗品費		19	18
14節	浸水対策排水施設用地土地賃借料		1,229	1,228

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課(河川担当)

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	40,170	33,416
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 5人	19,940	16,645
・ 3節 職員手当等	13,402	11,021
扶養手当	799	662
地域手当	3,092	2,607
通勤手当	621	444
超過勤務手当	594	582
休日給	27	19
期末勤勉手当	7,091	5,962
住居手当	698	445
児童手当	480	300
・ 4節 共済費	6,828	5,750
市町村職員共済組合負担金	6,736	5,680
雇用保険料	92	70

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 5 河川総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部下水道河川課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	1,670	1,113
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 2人	1,084	932
・ 3節 職員手当等 期末手当	153	140
・ 4節 共済費	289	0
社会保険料	278	0
雇用保険料	11	0
・ 9節 旅費 費用弁償	144	41

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

河川維持補修事業

【 下水道河川課 】

※重点事業(事業CD:5-6-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【 事業の内容 】

- ・ 浸水被害解消に向け、雨水排水施設(普通河川二階堂川)の整備工事を行った。
- ・ 準用河川の浚渫を行った。
- ・ 準用河川の除草、枝払いを行った。
- ・ 神奈川県河川協会へ参加した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
151,890	32,780	24,500		8,280
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	河川管理施設等維持修繕料		5,000	11,631
13節	準用河川浚渫業務委託料		3,200	3,015
	準用河川除草・枝払い等業務委託料		4,500	2,564
	大塚川から新川への分水用地不動産鑑定評価業務委託料		110	0
15節	河川維持修繕工事請負費(普通河川二階堂川)		20,000	7,210
17節	大塚川から新川への分水用地取得費		99,000	0
19節	神奈川県河川協会負担金		80	80
22節	大塚川から新川への分水用地建物等移転補償金		20,000	0

(款) 45 土木費 (項) 15 河川費 (目) 10 河川維持費

◎下水道・河川 ○河川の整備・管理

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 下水道・河川

施策の方針 河川の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池について、良好な状態を保持する。

【 事業の内容 】

- ・ 雨水調整池の浚渫を行った。
- ・ 監視カメラの設置を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,038	6,038	3,614		2,424
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		99	69
	印刷製本費		17	1
	雨水調整池管理施設維持修繕料		479	0
13節	雨水調整池浚渫業務委託料		2,640	1,804
	河川等監視カメラ・架台等据付業務委託料		1,100	1,089
14節	河川等監視カメラ・データ使用料		1,485	490
18節	ガス検知器購入費		218	161

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑政運営事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会の開催等を行った。
- ・ 鎌倉市緑の基本計画作成業務については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 令和3年度から実施する民有緑地の維持管理に係る支援に充てるため、森林環境譲与税の積立を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,322	19,628	15,017	3,971	640
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	緑政審議会委員報酬 10人	306	266	
	緑化推進専門委員報酬 1人	408	34	
	緑地維持管理相談専門委員報酬 1人	102	85	
	鎌倉市企画等提案型契約審査会(鎌倉市緑の基本計画)委員報酬 4人	144	84	
9節	緑地維持管理相談専門委員交通費	12	5	
11節	消耗品費	105	55	
	印刷製本費	63	0	
13節	鎌倉市緑の基本計画改訂業務委託料(翌年度への繰越明許費)	4,000	0	
	緑政業務支援GIS導入委託料	0	528	
19節	森林協会等負担金	182	182	
25節	森林環境譲与税基金新規積立金	0	13,778	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地取得事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉近郊緑地特別保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入れ申出がされた土地を、都市緑地法第17条に基づき買入れた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
88,246	87,535	87,535		0

< 支出内訳 >

	当初予算額	支出済額
13節 鎌倉近郊緑地特別保全地区不動産鑑定評価業務委託料	132	132
17節 鎌倉近郊緑地特別保全地区土地公有財産購入費	88,114	87,403

< 主な特定財源 >

・国庫支出金	48,071
・地方債	35,300

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑化啓発事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【 事業の内容 】

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。(新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、講座は全て中止とし、講師や受講予定者等への連絡・調整等に係る人件費や消耗品費等を支出した)
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,940	2,850	1,905		945
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
8節	ポスターコンクール優秀賞等報償費		114	0
11節	消耗品費		28	0
13節	緑化啓発に関する業務委託料		4,326	537
19節	第32回鎌倉市緑化まつり事業負担金		160	0
	まち並みのみどりの奨励事業補助金		991	928
	(件数=11件 総延長140.7m)			
	まち並みのみどりの奨励事業補助金(危険ブロック塀等対策事業分)		1,321	440
	(件数=4件 総延長53.64m)			

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

緑地保全事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生け垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【 事業の内容 】

- ・ 緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進むおそれのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。
- ・ 保存樹木、樹林、生け垣の所有者を支援するため、奨励金を交付した。
- ・ 市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。
- ・ 寄附金を緑地保全基金に積み立てた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,098	32,457	29,018		3,439
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	市民緑地愛護会報償費		45	45
13節	確保緑地の適正整備委託料		3,000	913
19節	保存樹木奨励補助金		609	535
	57件 297本			
	保存樹林奨励補助金		12,858	11,499
	154件 2,177,867.52㎡			
	保存生け垣奨励補助金		833	677
	91件 8,193.76㎡			
	緑地保全契約奨励補助金		9,084	8,015
	116件 517,136.38㎡			
25節	緑地保全基金新規積立金		700	917
	緑地保全基金利子積立金		269	309
	緑地保全基金寄附等積立金		13,700	6,108

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

風致保存会助成事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
分野 みどり
施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・ 鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を鎌倉風致保存会へ寄附金として交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,582	21,844	20,284		1,560

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
19節	風致保存会運営費補助金	10,382	9,844
25節	風致保存基金寄附等積立金	8,100	5,220
26節	風致保存会寄附金	8,100	5,220

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○緑の保全等

樹林維持管理事業

みどり公園課

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 緑の保全等

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【 事業の内容 】

- ・対象樹林地の枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・令和2年度の実施予定地区は、浄明寺・十二所地区及び大町・材木座地区の2地区であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う予算執行抑制のため、浄明寺・十二所地区のみ実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
26,378	10,551	7,216		3,335

<支出内訳>

13節 樹林維持管理委託料

当初予算額 支出済額

26,378 7,216

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 防災等に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 令和元年度に発生した台風被害に対する二次復旧作業については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。
- ・ 令和元年度に発生した台風被害に伴う損害賠償を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
54,336	70,530	54,515	8,030	7,985
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		7	6
	光熱水費		60	40
	管理施設維持修繕料		500	451
12節	電信料		48	40
	緑地に関する賠償補償保険等保険料		1,527	1,140
13節	緑地維持管理委託料		46,977	45,194
	常盤山緑地警備委託料		102	102
	(仮称)常盤緑地復旧事業委託料(翌年度への繰越明許費)		0	0
15節	緑地維持管理工事請負費		5,115	4,329
22節	賠償金		0	3,213

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

緑地維持管理計画推進事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 予防保全型管理への転換と防災対策の視点による計画的な緑地の維持管理を図るため。

効果 市有緑地のライフサイクルコストの縮減と安全性の確保を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・ 落石防護柵やフェンス等、緑地に設置された施設の更新、修繕を年次計画に基づき行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,935	6,935	3,389		3,546

<支出内訳>

	当初予算額	支出済額
11節 管理施設維持修繕料	3,935	1,022
13節 緑地維持管理委託料	3,000	2,367

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○良好な都市景観の形成

都市景観形成事業

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 都市景観
 施策の方針 良好な都市景観の形成

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
- ・ 景観計画、景観地区等による良好な景観の形成を推進した。
- ・ 屋外広告物の規制についての普及啓発を行うとともに、鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討を行った。
- ・ 景観上重要な建造物等の保存活用を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,623	28,423	23,269		5,154
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
1節	景観審議会委員報酬 10人	306	184	
8節	景観アドバイザー等報償費	119	0	
11節	消耗品費	72	34	
	印刷製本費	501	94	
	旧村上邸各所修繕料	500	657	
12節	景観重要建築物等プレート ^{和文英訳料}	18	0	
	^{筆耕翻訳料}	69	81	
	違反屋外広告物除却協力員ボランティア保険料	13	12	
13節	違反屋外広告物運搬処分業務委託料	41	0	
	行政刊行物販売委託料	24	0	
	庭園等管理(樹木管理)作業委託料(旧村上邸)	791	601	
	景観重要建築物等指定プレート製作設置等委託料	761	0	
	若宮大路・小町通り景観形成ガイドライン運用支援業務委託料	699	699	
19節	景観重要建築物等助成金	5,000	3,349	
25節	旧村上邸貸家料	1,914	1,914	
	景観重要建造物等保全基金運用利子積立金	88	10	
	景観重要建造物等保全基金寄附等積立金	22,707	15,634	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎都市景観 ○歴史的風土の保存

風致地区事務

【 都市景観課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 歴史を継承し、文化を創造するまち

分野 都市景観

施策の方針 歴史的風土の保存

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【 事業の内容 】

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 歴史的風土特別保存地区内行為許可申請書の神奈川県への経由事務及び同許可に関する調整を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
479	479	61		418
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		82	26
	印刷製本費		115	0
	風致地区内標柱維持修繕料		247	0
19節	古都保存連絡協議会負担金		35	35
<主な特定財源>				
	・国県支出金			160

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎生活環境 ○快適な生活環境の保全

海浜保全事業

【 環境保全課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 生活環境

施策の方針 快適な生活環境の保全

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 樹林地、河川、海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【 事業の内容 】

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
468	468	351		117
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費		30	4
	既存車止め等維持修繕料		158	77
12節	諸手続等手数料		5	0
13節	海岸の障害物処分等業務委託料		5	0
19節	サーフ90ライフセービング事業負担金		270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

古都中心市街地整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅周辺地域を中心とする古都中心市街地のまちづくりについて、目標や課題を共有し、古都鎌倉の玄関口として多くの市民・来訪者が快適に共存できる魅力的な空間の創出に向けた検討を進める。

【 事業の内容 】

- ・ 鎌倉駅周辺地区の今後のまちづくりについて、関係者との意見交換を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、鎌倉駅西口駅前広場の暫定的整備工事を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
102	31,009	30,924		85
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	技術アドバイザー謝礼		68	17
11節	消耗品費		24	0
	印刷製本費		10	0
15節	鎌倉駅西口駅前広場整備工事請負費(前年度からの繰越明許費)		0	30,907
<主な特定財源>				
	・地方債			23,100

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅周辺整備事業

【 市街地整備課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に基づいて、大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部、大船駅西口などの各地区において、都市基盤施設や都市環境の整備を推進するため。

効果 「大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想」に定めた地区の将来像の実現を図る。

【 事業の内容 】

- ・大東橋周辺、鎌倉芸術館周辺、大船駅南部などの各地区のまちづくり基本方針等に基づき指導や助言等を行った。
- ・「砂押川桜保全再生計画」に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・大船駅東口第2地区市街地再開発事業区域内の下水道管未接続箇所における臭気問題の改善に向けた検討を進めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
788	788	361		427
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	技術アドバイザー等謝礼		99	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		2	0
11節	消耗品費		380	90
	印刷製本費		35	0
12節	火災保険料		2	1
13節	砂押川プロムナード枯枝胴ぶき等伐採処分業務委託料		270	270

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

大船駅東口再開発事業特別会計繰出金 【 市街地整備課 】

【 事業の内容 】

- ・大船駅東口再開発事業特別会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,190	11,220	11,220		0

<支出内訳>		当初予算額	支出済額
28節	繰出金	10,190	11,220

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

※重点事業(事業CD:5-2-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【 事業の内容 】

- ・ 深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会を立ち上げ、将来のまちづくりの指針となる「深沢地区まちづくりガイドライン」の基本方針を策定した。
- ・ 土地利用計画の見直しに伴う、土地区画整理事業に係る事業フレームの調整検討を行った。
- ・ 土地区画整理事業の専門家の支援を受け、権利者との合意形成を図るとともに、都市計画決定に向けた資料作成及び事業推進に伴う関係機関協議等を行った。
- ・ 前年度からの繰越明許費により、交通計画及び道路整備計画の検討を行い、交通管理者協議資料を作成した。
- ・ 深沢地域整備事業用地の維持管理を行った。
- ・ 湘南地区整備連絡協議会及び村岡新駅(仮称)設置協議会の運営を行った。
- ・ 新駅概略設計を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
138,153	130,146	125,324		4,822
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会委員報酬 9人		328	162
8節	技術アドバイザー謝礼		306	0
9節	事務補助嘱託員費用弁償		3	0
11節	消耗品費		419	419
	深沢地域整備事業用地維持修繕料		600	275
13節	深沢地区土地区画整理事業支援業務委託料		23,463	22,990
	深沢地域整備事業用地管理業務委託料		2,761	2,039
	深沢地区まちづくりガイドライン基本方針策定業務委託料		3,116	3,080
	深沢地区事業フレーム調整検討業務委託料		8,250	8,250
	深沢地区交通管理者調整協議資料作成業務委託料(前年度からの繰越明許費)		0	10,373
19節	湘南地区整備連絡協議会負担金		100	0
	村岡新駅(仮称)設置協議会負担金		40	0
	慶應義塾大学SFC研究所xSDGコンソーシアム負担金		330	330
	新駅概略設計負担金		98,437	77,406
<主な特定財源>				
	・国県支出金			2,750

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎市街地整備 ○市街地整備の推進

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 市街地整備
 施策の方針 市街地整備の推進

【 事業の目的 】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【 事業の内容 】

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画関連情報の更新に伴う都市計画図等の修正を行った。
- ・人口減少や少子高齢化社会に対応し、持続可能なまちづくりを実現するため、コンパクトシティ形成に向けた取組みの一環として、立地適正化計画を令和元年度から3か年で策定する。
令和2年度は都市機能誘導区域(案)の検討を行った。
- ・特定生産緑地の指定手続を行った。
- ・都市計画業務支援システムを活用した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,370	15,686	11,818		3,868
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	都市計画審議会委員報酬 12人		528	336
11節	消耗品費		309	234
	印刷製本費		3,667	116
13節	都市計画業務支援システム保守業務委託料		462	462
	都市計画関連データ等修正業務委託料		847	847
	特定生産緑地指定図書作成業務委託料		3,971	1,287
	都市計画情報提供サービス業務委託料		1,650	1,650
	立地適正化計画策定業務委託料		6,501	6,501
14節	都市計画業務支援システム用機器賃借料		385	385
	説明会用会場使用料		40	0
19節	県都市計画実務担当者連絡協議会負担金		10	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			3,250

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通環境整備事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、関係事業者との調整を行った。
- ・「パークアンドライド」の案内看板について、維持修繕を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,383	1,341	667		674
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節	消耗品費			839 65
	印刷製本費			459 0
	パークアンドライド案内看板維持修繕料			437 399
13節	交通量調査業務委託料			2,442 0
19節	三浦半島地域広域幹線道路整備促進期成同盟等負担金			206 203

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

交通体系整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 総合交通

施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【 事業の内容 】

- ・前年度からの事故繰越しにより、鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託において、歩行者尊重道路「小町大路(辻説法通り)」の安全対策を検討し、整備前後の効果検証を実施した。その結果を基に、住民と意見交換会を実施した。
- ・交通環境の改善を目指した短期的な取組については、国からの財政的な支援等を受け事業の検討を進めてきたが、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
16,331	28,611	5,329	19,000	4,282
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	交通計画検討委員会委員報酬		378	0
	交通計画検討委員会特別委員会委員報酬		230	0
8節	交通政策専門員等報償費		268	0
9節	交通計画検討委員会委員費用弁償		13	0
11節	消耗品費		100	93
	印刷製本費		500	0
13節	歩行者尊重道路整備等業務委託料		8,987	1,166
	交通需要管理検討業務委託料		5,753	0
	鎌倉地域地区交通計画策定支援業務委託料(前年度からの事故繰越し)		0	4,070
	短期的観光渋滞対策関連調査業務委託料(翌年度への繰越明許費)		0	0
14節	シンポジウム会場等使用料		102	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			4,118

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

新交通システム等整備事業

【 都市計画課 】

※重点事業(事業CD:5-3-1-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 次世代型のモビリティを見据え、高齢者、障害者、子どもなど交通弱者に配慮し、すべての人にとって快適な移動環境を創造する。

【 事業の内容 】

・交通不便地域等において、新たな交通システムの導入に向けた検討及び実証実験を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,199	8,473	4,636		3,837
<支出内訳>		当初予算額	支出済額	
11節	電気料	0	3	
12節	車両任意保険料	0	68	
13節	新たなモビリティサービスの検討・運用業務委託料	1,989	2,090	
	運行管理業務委託料	0	343	
	仮設電源設置業務委託料	0	314	
14節	自動車使用料	2,210	1,818	

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

公共交通支援事業

【 都市計画課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 総合交通
施策の方針 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関の輸送力の向上と利用促進を図る。

【 事業の内容 】

- ・市民が安心して公共交通を利用できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大の防止に取り組む公共交通事業者を支援するために、補助金を交付した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
0	7,000	5,051		1,949

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

19節 鎌倉市公共交通事業者新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 0 5,051
支援事業費補助金

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎総合交通 ○交通環境の整備

鎌倉駅東口駅前広場整備事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 総合交通
 施策の方針 交通環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 鎌倉駅東口駅前広場における歩行者の安全な利用空間の改善を図るとともに、公共交通機関の利便性の向上を図る。

【 事業の内容 】

・ 鎌倉駅東口駅前広場の整備工事について、前年度からの繰越分を含めて実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
94,643	513,630	475,020		38,610
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
13節	鎌倉駅東口駅前広場整備工事(土木)監理等業務委託料 (継続事業・前年度からの繰越含む)		3,661	19,872
	鎌倉駅東口駅前広場整備工事(建築)監理等業務委託料 (継続事業・前年度からの繰越含む)		830	9,968
15節	鎌倉駅東口駅前広場整備工事請負費 (継続事業・前年度からの繰越含む)		80,152	445,180
22節	物件移転等補償金		10,000	0
<主な特定財源>				
	・地方債			416,100

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【 事業の内容 】

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
78	78	68		10
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
11節 消耗品費			21	21
14節 会場使用料			3	0
19節 関東国道協会等負担金			54	47

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

国県道対策事業

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 道路整備
施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【 事業の内容 】

・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業に伴う事務事業の円滑な執行を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24	24	24		0

<支出内訳>

当初予算額 支出済額

11節 一般文具等消耗品費

24

24

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【 事業の内容 】

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路の整備の促進を図った。また、無電柱化を推進する市区町村長の会に加入し、政府・民間等との連携・協力を図り、より一層の推進を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
63	63	33		30
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
19節	神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金		60	30
	無電柱化を推進する市区町村長の会負担金		3	3

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎道路整備 ○道路・橋りょうの整備・維持管理

街路樹維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 道路整備

施策の方針 道路・橋りょうの整備・維持管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 街路樹の適度な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給を行ったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う予算執行抑制のため、花苗の配布は取り止めた。
- ・街路樹の維持管理を委託した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う予算執行抑制のため、協働事業負担金の執行を取り止めた。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,703	30,043	24,657		5,386
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	街路樹愛護会報償費		1,350	1,115
11節	消耗品費		360	0
13節	大船駅東口花壇維持管理委託料		1,044	1,044
	街路樹維持管理委託料		27,649	22,498
19節	協働事業負担金		300	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

共創計画部交通政策課

環境部環境保全課(環境保全担当)

まちづくり計画部のうち市街地整備課・深沢地域整備課・都市計画課

都市景観部のうち都市景観課・みどり課

都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	531,205	463,685
・ 2節 給料 一般職	235,069	205,650
一般職職員 57人		
短時間勤務職員 1人		
・ 3節 職員手当等	208,065	179,682
扶養手当	9,422	7,928
地域手当	38,605	33,545
通勤手当	6,537	5,605
超過勤務手当	14,560	16,221
休日給	149	86
管理職手当	12,850	9,557
特殊勤務手当	0	1
期末勤勉手当	109,611	93,329
住居手当	11,710	9,142
管理職員特別勤務手当	126	183
児童手当	4,495	4,085
・ 4節 共済費	88,071	78,353
市町村職員共済組合負担金	86,796	77,959
社会保険料	1,175	394
雇用保険料	100	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 5 都市計画総務費

◎行財政運営 ○行財政運営

会計年度任用職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】

まちづくり計画部のうち市街地整備課・深沢地域整備課・都市計画課
都市景観部都市景観課
都市整備部道路課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	7,188	8,372
・ 1節 報酬 会計年度任用職員 会計年度事務補助職員 5人	5,418	6,401
・ 3節 職員手当等 期末手当	761	885
・ 4節 共済費	289	792
社会保険料	278	792
雇用保険料	11	0
・ 9節 旅費 費用弁償	720	294

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 15 公共下水道費

◎下水道・河川 ○下水道の整備・管理

下水道事業会計繰出金

【 都市整備総務課 】

【 事業の内容 】

・下水道事業会計への繰出金を支出した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,688,545	2,492,197	2,492,197		0

<支出内訳>

28節 繰出金

当初予算額	支出済額
2,688,545	2,492,197

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園維持管理事業

【 みどり公園課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託し、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用料金収入減については補填した。
- ・ 公園施設長寿命化計画により、計画的な補修更新等の維持管理を実施するとともに、地域の特性や市民ニーズに対応した公園の創造を図ったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う予算執行抑制のため、一部の実施を取り止めた。
- ・ 都市公園行政に関する最新の動向等について、情報収集や他自治体との意見交換、国県に対する要望活動等を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
327,113	332,387	322,346		10,041
<支出内訳>				
			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		412	207
	維持修繕料		24,686	10,094
12節	ボランティア保険料		16	15
13節	都市公園(笛田公園及び鎌倉広町緑地を除く)指定管理料		215,557	215,557
	都市公園(笛田公園)指定管理料		24,314	24,313
	鎌倉広町緑地指定管理料		27,600	27,600
	児童遊園等管理委託料		10,306	10,205
	公園維持管理委託料		1,507	10,810
14節	源氏山公園用地賃借料		1,000	1,000
	児童遊園土地賃借料		13,111	13,078
	笛田公園用地、緩衝緑地土地賃借料		4,770	4,800
	梶原六本松公園土地賃借料		3,594	3,594
19節	日本公園緑地協会等負担金		100	92
	都市公園収入補填負担金		0	981
27節	法定整備等公課費		140	0

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園整備事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-2)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち
 分野 みどり
 施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ (仮称)山崎・台峯緑地等の供用開始に向けて、樹林管理等を行った。
- ・ (仮称)山崎・台峯緑地の供用開始に向けて、整備工事等を行ったが、建築その3～4については新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業の一部凍結により取りやめた。
- ・ 令和元年度に発生した台風被害に伴う損害賠償を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
198,963	171,871	121,005		50,866
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		765	577
	光熱水費		681	95
12節	電信料		244	0
	ボランティア活動保険料		10	0
13節	都市公園等整備事業用地維持管理等業務委託料		6,296	6,243
	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)建築物(その3～4)工事監理業務委託料		6,300	0
	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)建築物(その2)工事監理業務委託料		6,226	3,256
	(仮称)山崎・台峯緑地管理事務所警備委託料		287	102
	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)管理業務委託料		6,962	6,962
	高額資材等の価格調査に関する業務委託料		0	198
15節	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)整備(建築その2)工事請負費		57,222	61,182
	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)整備(建築その3～4)工事請負費		21,263	0
	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)整備(土木)工事請負費		85,569	35,047
19節	水道加入金		1,227	963
	岩瀬下関防災公園用地費管理者負担金		5,911	5,911
22節	賠償金		0	469
<主な特定財源>				
	・ 国県支出金			37,100
	・ 地方債			57,300

(款) 45 土木費 (項) 20 都市計画費 (目) 20 公園費

◎みどり ○都市公園の整備・管理

公園用地取得事業

【 みどり公園課 】

※重点事業(事業CD:3-1-2-3)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 都市環境を保全・創造するまち

分野 みどり

施策の方針 都市公園の整備・管理

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【 事業の内容 】

- ・ (仮称)山崎・台峯緑地用地を取得し、早期開園に向け準備を行った。
- ・ 山ノ内宮下小路緑地用地を取得し、早期供用に向け準備を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
546,760	546,760	462,069		84,691
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
11節	消耗品費		110	79
	印刷製本費		200	0
13節	(仮称)山崎・台峯緑地用地(風致公園・都市緑地)不動産鑑定評価等業務委託料		3,603	1,144
	山ノ内宮下小路緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料		504	296
	公共嘱託登記業務委託料		1,138	907
17節	(仮称)山崎・台峯緑地(風致公園)用地購入費		402,440	256,279
	(仮称)山崎・台峯緑地(都市緑地)用地購入費		100,107	191,433
	山ノ内宮下小路緑地用地購入費		38,658	11,931
<主な特定財源>				
	・国県支出金			153,100
	・地方債			290,800

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅管理運営事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 住宅・住環境
 施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。
- ・市営住宅の指定管理者による維持管理を行った。
- ・借上住宅の賃借料の支払いを行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
139,427	138,977	136,236		2,741
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅入居者選考委員会委員報酬		104	0
	市営住宅指定管理者選定委員会委員報酬 5人		104	84
11節	消耗品費		67	47
	印刷製本費		18	17
	市営住宅各種修繕料		3,080	1,819
	内訳			
	市営岡本住宅外部階段手摺設置修繕料			1,299
	市営岡本住宅集会所折板屋根修繕料 外1件			520
12節	筆耕翻訳料		93	0
13節	公営住宅管理システム保守点検業務委託料		743	743
	市営住宅等指定管理料		40,231	40,231
	福祉型借上住宅建物不動産鑑定評価業務委託料		275	0
	市営住宅高所低木等剪定業務委託料		605	0
14節	公営住宅管理システム用機器等賃借料		700	699
	福祉型借上市営住宅賃借料		91,484	90,904
19節	神奈川県公共住宅供給推進協議会負担金		2	2
	市営住宅管理費等負担金		1,920	1,690
22節	過少収納時補てん金		1	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			18,449

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

住宅政策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
 分野 住宅・住環境
 施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【 事業の内容 】

- ・ 若年ファミリー層転入促進等の施策の推進及び住宅マスタープランに掲げる住宅施策の展開を図った。
- ・ 高齢者、障害者及び子育て世帯の民間賃貸住宅への入居等の居住支援を行った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
421	376	286		90
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
8節	住宅政策アドバイザー報償費		135	0
13節	居住支援業務委託料		286	286
<主な特定財源>				
・ 国県支出金				128

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

空き家等対策推進事業

【 都市整備総務課 】

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち

分野 住宅・住環境

施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 空き家等対策を総合的かつ計画的に実施するため。

効果 適切な管理が行われていない空き家等に関する施策を推進し、市民の生活環境の保全を図る。

【 事業の内容 】

- ・ 市民等から寄せられる空き家等に関する相談に対応した。
- ・ 鎌倉市空家等対策計画に基づき、具体的な施策の構築を図った。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,990	837	722		115
<支出内訳>				当初予算額 支出済額
1節	空家等対策協議会委員報酬		224	0
11節	消耗品費		65	62
	印刷製本費		323	0
12節	筆耕翻訳料		47	0
13節	特定空家等行政代執行業務委託料		4,671	0
14節	空き家管理システム使用料		660	660

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎住宅・住環境 ○住環境の整備

市営住宅集約化事業

【 都市整備総務課 】

※重点事業(事業CD:5-5-1-1)

【 総合計画上の位置づけ 】

将来目標 安全で快適な生活が送れるまち
分野 住宅・住環境
施策の方針 住環境の整備

【 事業の目的 】

対象 市民等

意図 公共施設再編計画に基づき、老朽化した市営住宅の集約・建替えを行うため。

効果 市営住宅入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【 事業の内容 】

- ・老朽化した市営住宅の集約化を行うため、課題の整理・検討を行った。
- ・市営住宅集約化事業用地において排水設備整備を実施した。

【 事業費 】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
23,461	23,432	20,107		3,325
<支出内訳>			当初予算額	支出済額
1節	市営住宅集約化事業事業者選定委員会委員報酬		156	0
11節	消耗品費		29	0
15節	市営住宅集約化用地排水設備整備工事請負費		22,220	20,107
22節	市営住宅入居者移転補償金		1,056	0
<主な特定財源>				
	・国県支出金			5,293

(款) 45 土木費 (項) 25 住宅費 (目) 5 住宅管理費

◎行財政運営 ○行財政運営

職員給与費

職員課

【 対象となる職員 】
都市整備部住宅課

職員給与費

(単位:千円)

<支出内訳>	当初予算額	支出済額
職員給与費	54,333	32,911
・ 2節 給料 一般職 一般職職員 5人	25,483	14,783
・ 3節 職員手当等	20,669	12,623
扶養手当	272	286
地域手当	4,013	2,408
通勤手当	652	158
超過勤務手当	718	443
休日給	0	23
管理職手当	987	987
期末勤勉手当	11,420	7,181
住居手当	2,247	1,137
児童手当	360	0
・ 4節 共済費	8,181	5,505
市町村職員共済組合負担金	8,150	5,505
雇用保険料	31	0